

令和4年度 事業報告

令和4年度事業計画にもとづき、各事業の実施に努めた。

水道産業界で活動している当連合会会員は、その技術開発、生産活動等を通じて、上下水道・工業用水道の質的向上に努め、我が国の生活環境の改善や都市基盤の整備に大きく貢献している。

本年度も新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業において、事業内容の変更を余儀なくされる事態があったものの、概ね次の諸活動を展開した。

1 政府機関等への要望活動

- (1) 令和4年6月2日に自由民主党本部において、自由民主党水道事業促進議員連盟第17回総会が開催され、「令和5年度概算要求」に関するヒアリングが行われ、要望書を提出するとともに、宮崎正信専務理事より、要望について説明を行った。
- (2) 令和4年7月28日に正副会長による予算要望活動を実施し、厚生労働省、国土交通省、総務省、経済産業省及び財務省に要望書を提出した。その後、関係国会議員に対して、要望活動を行い、要望書を手渡した。
- (3) 令和4年9月7日に自由民主党本部において、自由民主党水道事業促進議員連盟第18回総会が開催され、木股昌俊会長及び宮崎正信専務理事が出席し、「令和5年度概算要求等について」及び「水道行政の移管」について議論がされ、木股会長より、意見を述べた。
- (4) 令和5年2月15日に自由民主党本部において、自由民主党水道事業促進議員連盟第19回総会が開催され、水団連からは宮崎正信専務理事が出席し、「水道行政の移管、激甚災害と水道復旧等について」及び「経済安全保障推進法における水道事業の位置付けについて」議論され、水団連として、意見を述べた。

(5) その他

①水道施設整備費等国庫補助事業に係わる工事歩掛の要望

令和4年5月、水団連加盟団体から要望があった「工事費の積算（労務費）」、「管路土工(アスファルト舗装歩掛表)」、「ポリエチレン管（融着接合）布設歩掛表」、「工事費の積算（工事の一時停止に伴う増加費用等の積算）」及び工事費の積算（現場管理費）」に関する歩掛改訂要望について、厚生労働省水道課長に提出した。

②厚生労働省施工技術調査検討会への意見要望

日 時 令和4年6月9日(木)午後2時

場 所 厚生労働省仮設第2会議室

内 容 ①についての詳細説明

出席者 全国管工事業協同組合連合会、事務局（４名）

2 関係団体行事への協賛

令和４年度事業計画に基づき、日本水道協会、日本工業用水協会、日本下水道協会、全国水道企業団協議会の各総会及び地方支部総会に対して協賛を行なうとともに水道産業界への支援を要請した。

特に、水道展を併催する日本水道協会令和４年度全国会議には、協賛を行なうとともに開催都市である名古屋市に対し水道展への協力を要請した。

3 広報宣伝事業の実施

(1) 名古屋水道展の開催

令和４年１０月１９日から２１日の間、名古屋市において、日本水道協会全国会議・全国研究発表会に併催して水道展を開催した。広報活動として、開催案内チラシ及びポスターを作成し、開催地名古屋市上下水道局の協力のもと、近隣事業体に配布するとともに、地元、管工事組合等にも配布した。

また、学生向けのチラシを作成し、愛知県や教育委員会などを通じて、高校、高専に案内を行うとともに、中部地区の大学の水道関係の研究室などにチラシを配布した。加えて、水道展会場へのアクセスである「あおなみ線」の駅構内に日本水道協会と共同作成の大型ポスターを貼り、広報に努めた。

「名古屋水道展２０２２」開催報告

期 間 令和４年１０月１９日(水)～１０月２１日(金)

場 所 ポートメッセなごや

概 要	出展社	１３２社
	展示面積	４，１０４㎡
	来場者数	８，０７８人

(2) 新聞・業界紙広告

年間事業計画に基づき、各種業界紙、関係業界雑誌などに広告を掲載した。

□ 広告掲載誌	業界新聞	４０回
	業界誌	８回

(3) 機関誌「水団連」の発行

機関誌「水団連」を年４回（１月、４月、７月、１０月）発行し、国の関係機関、研究機関のほか、都道府県庁所在地事業体・政令指定都市所在事業体など、主に水道は給水人口、下水道は処理人口、その他工業用水道、企業団は事業規模を勘案し配布した。

※作成部数：毎回２，０００部

4 常設カタログ展示場

日本水道会館には、(公社)日本水道協会ほか水道関連団体が入居しており、多くの会議、研修、講演会等が開催され、全国の事業体を含め多数の水道関係者が訪れる。

水団連では、1階に設置した常設カタログ展示場により会員の有する技術・製品情報を展示し、これら来訪者の情報提供を図っている。なお、令和4年度の展示状況は以下のとおりである。

令和4年度の展示状況	展示会員数	41会員
	展示ポスト数	46ポスト

5 講演会等の開催

- (1) 日時 令和4年7月26日(金)午後2時
形式 オンライン配信
内容 「サイバー犯罪、サイバー攻撃の現状等について」
講師 神奈川県警察本部生活安全部サイバー犯罪捜査課課長補佐 卯野智喜氏
聴講者 47名
- (2) 日時 令和5年3月1日(水)午後2時
形式 オンライン配信
テーマ 令和5年度上・工・下水道関係政府予算(案)を聞く会
「水道関係予算案」
厚生労働省医薬・生活衛生局水道課課長補佐 友永 悟氏
「下水道事業予算案」
国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道事業課
企画専門官 若公 崇敏氏
「工業用水関連予算案」
経済産業省経済産業政策局地域経済産業グループ地域産業基盤整備課
課長補佐 下舘 拓章氏
聴講者 96名

6 施設見学会(中止)

例年開催している施設見学会は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、今年度の開催を見送った。

7 上水道基礎専門研修

令和4年度は水道施設の仕組み(基礎)研修として、横浜市水道局中村ウォータープラザで、4回の研修会(7月1日、7月15日、12月9日、12月16日)を実施した。

本研修は、横浜市水道局職員及び横浜ウォーター株式会社社員を講師に迎え、水道施設及び給水装置の基礎知識を学ぶとともに、横浜市水道局の管路研修施設等を利用して、漏水探知器等を操作し、実際に漏水音を捕捉体験するとともに、給水管接合を実際に体験し

た。更に、防災施設視察に加え、感性向上体験施設を利用して、実際の水の力を体験した。

参加人数は98名

8 調査事業

水道事業計画と資材需要調査

水道事業の今年度の事業計画及び資材需要を把握するため、厚生労働省の協力を得て調査を実施し、報告書の電子データを会員に提供すると共に、全国の水道事業体へも配布した。

9 情報提供

厚生労働省、国土交通省並びに経済産業省などから入手した通知、資料等について、会員活動に有意義と思われる資料を精査し、メールや水団連HPを通じて会員に情報提供を行った。

10 表彰事業

(1) 会長表彰

- 感謝状（20年）2会員、（10年）1会員
- 表彰状（委員10年）1氏（代理者）2氏

(2) 厚生労働大臣表彰

- 水道関係功労（令和4年11月25日）
- 岡地 雄一氏（第一環境株）
- 竹中 史朗氏（日之出水道機器株）

11 海外協力事業

(1) ISO/TC 224（国際標準化機構技術委員会）への参画

ISO/TC 224が定める上下水道サービス事業の国際規格については、(公社)日本水道協会に設置されたISO/TC 224上水道国内対策委員会において調整、検討を行っており、本連合会からも委員を派遣し産業界の立場から意見を発信している。

なお、令和4年度のISO/TC 224総会他の出席状況(全てオンラインにて開催)は以下のとおり。

- ① ISO/TC 224全体会議 令和4年6月24日
- ② WG 6 令和4年6月23日 11月22日（アセットマネジメント）
- ③ WG 7 令和4年6月22日、7月11日（危機管理）
- ④ WG 14 令和4年6月20日、10月24日
（コーポレートガバナンス、ISO 24510改訂）
- ⑤ WG 15 令和4年6月21日（スマート水管理）
- ⑥ WG 16 令和4年5月18日、6月23日、10月13日（気候変動適応）
- ⑦ WG 17 令和4年6月22日、12月19日（ISO 24511、12改訂）

(2) 第54回国際協力機構(JICA)上水道研修コースの協力

国際協力機構(JICA)上水道施設技術総合コースは、令和4年10月10日(月)～29日(木)の32日間、オンライン併用で実施され、研修生6人が来日した。当連合会からは、研修生に記念アルバムを贈呈した。

(3) 第12回IWA(世界水協会)世界会議・展示会

期 間 令和4年9月11日(日)～15日(木)

場 所 デンマーク・コペンハーゲン市 ベラセンター

2022年国際水協会(IWA)世界会議・展示会が2022(令和4年)年9月11～15日の5日間、デンマーク・コペンハーゲン市 ベラセンターにおいて「Water for smart liveable cities」をテーマに開催され、100以上の国と地域から約9,000名が参加した。本連合会では展示ブースを出展し、展示会内に設置されたジャパンパビリオンにおいてパネル展示を行うなどの情報発信を行った。

12 新年名刺交換会

日本水道協会・日本下水道協会・日本工業用水協会・全国簡易水道協議会及び当連合会共催による新年名刺交換会(東京・名古屋・大阪)は、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで開催した。

(1) 東京地区

令和5年1月6日(金)午後2時から日比谷の東京會館3階「ローズの間」において開催した。

会場には、斉藤鉄夫国土交通大臣(公明党)、中根一幸、朝日健太郎各衆議院議員(以上自由民主党)、古屋範子(公明党)衆議院議員並びに関係省庁、事業者ほか会員計約800名の出席があった。主催5団体を代表して木股昌俊会長の挨拶のあと各界との交流を深めた。

(2) 名古屋地区

令和5年1月12日(木)午前11時から名古屋市中村区の名鉄グランドホテル11階「柏の間」において、中部ウォータークラブ、全国上下水道コンサルタント協会中部支部及び5団体共催により開催し、山田雅雄中部ウォータークラブ理事長による挨拶のあと交流を行った。出席者：約380名

(3) 大阪地区

令和5年1月10日(火)午後1時から大阪市中央区のシティプラザ大阪2階「旬の間」において、関西ウォータークラブ及び5団体共催により開催し、玉井得雄関西ウォータークラブ理事長による挨拶のあと串田守可副会長の乾杯で交流を行った。出席者：約450名

1 3 国主催の中央行事等への協賛

(1) 第64回 水道週間

期 間 令和4年6月1日(水)～7日(火)

主 催 厚生労働省、都道府県ほか

スローガン 「大切な 水と一緒に 暮らす日々」

(2) 第46回 水の週間中央行事「水を考えるつどい」

期 日 令和4年8月1日(月) [期間8/1(月)～8/7(日)]

場 所 イイノホール

主 催 水循環政策本部、国土交通省、東京都など実行委員会

(3) その他の協賛等

①健康のため水を飲もう推進運動

目 的 「健康のため水を飲んで、熱中症や脳梗塞などの重大な事故から尊い人命を守る」

主 催 健康のため水を飲もう推進委員会

後 援 厚生労働省

協 賛 本連合会ほか

②第64回 「水の写真コンテスト」(水道週間協賛事業)

募集期間 令和4年6月1日(水)～9月2日(金)

題 材 水のある風景、水を利用している場面、水道施設、水と人のふれあいや水と生命のつながり

主 催 (株)水道産業新聞社

後 援 厚生労働省、本連合会ほか

特別賞 (一社)日本水道工業団体連合会会長賞

③エコテクノ2022 (地球環境ソリューション展&エネルギー先端技術展)

期 間 令和4年7月6日(水)～7月8日(金) [3日間]

場 所 北九州市西日本総合展示場新館

主 催 福岡県、北九州市、(公財)北九州観光コンベンション協会

後 援 国土交通省九州地方整備局、経済産業省九州経済産業局、環境省九州地方環境事務所、本連合会ほか

④下水道展22東京

期 間 令和4年8月2日(火)～5日(金) [4日間]

場 所 東京 ビッグサイト 東展示棟

主 催 (公社)日本下水道協会

後 援 国土交通省、環境省、経済産業省、日本下水道事業団ほか

協 賛 本連合会ほか

⑤第22回浄水技術研究会講演会

期 日 令和4年11月15日(火)

場 所 自動車会館

主 催 浄水技術研究会

後 援 厚生労働省、本連合会ほか

⑥Japan Home & Building Show 2022

期 間 令和4年10月26日(水)～28日(金) [3日間]

場 所 東京ビッグサイト

主 催 (一社)日本能率協会

後 援 外務省、経済産業省、国土交通省ほか

協 賛 本連合会ほか

⑦(一社)スマート水道推進協会主催第7回特別講演会

期 日 令和4年12月21日(水)

形 式 オンライン配信

主 催 (一社)スマート水道推進協会

後 援 本連合会

⑧第55回ミス日本コンテスト2023「水の天使」

選考日 令和5年1月23日(月)

内 容 「日本らしい美しさで社会をより良くする」理念を掲げ、夢を叶えるための実力を備えた女性の輩出を目指して、コンテストを開催。

主 催 (一社)ミス日本協会

協 賛 本連合会ほか

受賞者 名古屋大学医学部2年竹田聖彩さん(愛知県出身20歳)

⑨第17回 再生可能エネルギー世界展示会

期 間 令和5年2月1日(水)～3日(金) [3日間]

場 所 東京ビッグサイト

主 催 (特非)再生可能エネルギー協議会

後 援 経済産業省、環境省、国土交通省ほか

協 賛 本連合会ほか

⑩ InterAqua 2023 第14回水ソリューション総合展

期 間 令和5年2月1日(水)～3日(金) [3日間]

場 所 東京ビッグサイト

主 催 ㈱JTBコミュニケーションデザイン
後 援 本連合会ほか

1.4 協議会等への所属状況

- (1) (公社) 国際厚生事業団
- (2) (特非) 日本水フォーラム

1.5 水団連ホームページによる情報発信

ホームページにおいて、関係省の施策、予算等の情報提供を行うとともに、水道展関係資料、講演会開催等の周知の手段など、更なる情報発信の場として機能の充実を図っている。